

事例：ひびきコスモス公園（(仮称) 響灘グラウンド整備事業）

事業主体	北九州市（担当課 みどり・公園整備課）
事業実施場所 及び規模	事業箇所 若松区向洋町 事業規模 11.2ha
工事期間	平成21年度 ～ 平成24年度
環境配慮の 背景・目的	北九州市の基本構想・基本計画である「元気発信！北九州」プランで掲げる、身近に親しめるスポーツ施設の充実を図るため、ソフトボールやサッカーなどの様々なスポーツ、大規模な大会にも対応できる多目的グラウンドの整備を行ってきた。 整備にあたり、周辺住宅地への影響に配慮し、植栽緩衝帯の整備やグラウンド舗装に下水汚泥を再利用した材料の採用などを行っている。

環境配慮の内容

1 周辺住宅地への影響緩和

- (1) 周辺住宅地への砂塵の飛散防止策及び騒音対策として、グラウンドと隣接住宅地の間に植栽緩衝帯を設けた。
- (2) グラウンド周囲にある観覧スペースに張芝を行い、観覧時の微気象緩和と周辺住宅地への砂塵の飛散防止につとめた。

2 リサイクル材料などの再利用

- (1) 砂塵の飛散防止策として、下水汚泥を再利用した材料をグラウンド舗装に採用した。
- (2) 造成段階で、公園予定地の埋め立てに他工事での発生土を再利用した。

